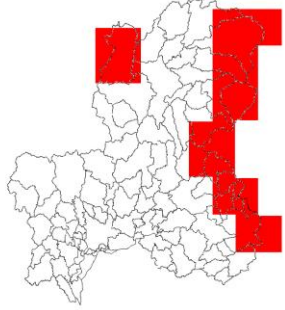


コキンレイカ	<i>Patrinia triloba</i> (Miq.) Miq. var. <i>triloba</i>	準絶滅危惧
		オミナエシ科
選定理由	生育地がかなり限られており、個体数も少ない。	写真(高橋弘)
形態の特徴	横に伸びる地下茎から地上茎が立ち上がる。地上茎の高さは20-40cm。葉は掌状に中～深裂する。花冠は長さ約5mm、黄色、基部が片側へ少しふくれる。小苞は果時に半透明の翼に成長する。翼は長さ7-8mmの倒披針形で、先方が通常片方に偏って凹入する。	
生態的特徴	山地の明るい岩場に生育する。花は7月中旬から8月中旬に咲く。	 
分布状況	日本に固有で、東北地方から北陸地方に分布する。岐阜県では東部の長野県境付近と県北の北西部の標高400-1200mに見られる。	
減少要因	開発による生育地の破壊と、山草愛好家による採取が考えられる。	
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘